



暖房および冷却シートキット

概略

キット番号

52000462、52000462DEMO、52000463、52000463DEMO、52100063

適合モデル

モデルの適合性については、純正P&Aカタログまたはwww.harley-davidson.com内のパーツ&アクセサリページ(英語版のみ)をご覧ください。

取り付け要件

他のアクセサリがすでにアクセサリ回路コネクタを使用している場合、図4を参照し、「Y」アダプターハーネスが必要となります。

2014～2016年のモデル: 他のアクセサリがすでにアクセサリ回路コネクタを使用している場合、別途購入のスイッチ回路アダプターハーネス(70264-94A)を「Y」アダプターとして使ってください。

2017年以降のモデル: 他のアクセサリがすでにアクセサリ回路コネクタを使用している場合、別途購入のスイッチ回路アダプターハーネス(69201706)を「Y」アダプターとして使ってください。

Trikeモデル: アダプターブラケットキット(52100063)の別途購入。

2014～2016年モデル: アクセサリ回路コネクタを配置するには、キット69200722の取り付けが必要です。

2017年以降のモデル: キット69201599Aの取り付けには、シート下のアクセサリ回路コネクタを見つける必要があります。

暖房および冷却シートは、ライダーバックレストマウントキット52589-09Aと52300642と互換性があります。シートは、ライダーバックレストマウントキット52596-09Aと54099-10とは互換性ありません。

電気系統の過負荷

注記

電気アクセサリを装着しすぎると、車両の充電システムに過剰な負荷がかかる可能性があります。複数の電気系統アクセサリが同時に作動し、それらの消費電流量が車両の充電システムで供給できる電流量の総量を超えた場合、バッテリーが放電し、車両の電気系統に損傷を与えるおそれがあります。(00211d)

警告

電気系統アクセサリを取り付ける場合、影響を受ける回路を保護するヒューズまたは回路ブレーカーの最大アンペア数を超えないよう注意してください。最大アンペア数を超えると、電氣的な不具合が生じ、死亡したり重傷を負う場合があります。(00310a)

シートは、電気系統システムから最大4Aの電流が必要です。

キット内容:

キット内容については「図11」および「表2」を参照してください。

取り外し

1. グラブストラップを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
2. シートを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。
3. サドルバッグを取り外します。サービスマニュアルを参照してください。

シートの取り外し

1. Tour-Pak®モデル: Tour-Pakの蓋を開きます。フロントパッドを引き上げて、シートマウントに手が届くようにします。
2. 「図11」を参照。現在取り付けられている座席の背面から、ロックワッシャー付きプラスのフィリップヘッドスクリュー(A)を取り外します。シートを後方に引き、取り外します。スクリューを保管しておきます。
3. フェンダーストリップ: 装備されている場合、フェンダートリムストリップを取り外します。
 - a. クロームと塗装面を保護するために、標準スクリュードライバーの端をテープでカバーします。
 - b. 「図1」を参照。スクリュードライバーの端をクロームベゼルとゴム製トリムストリップの間に差し込みます。
 - c. ベゼルのこじって外してください。スクリュードライバーをトリムストリップから離して引き上げます。
 - d. 両端から始めて、ゴム製トリムストリップをフェンダーからはがしていきます。
 - e. イソプロピルアルコールを蒸留水で50%に希釈した溶液で清掃する。

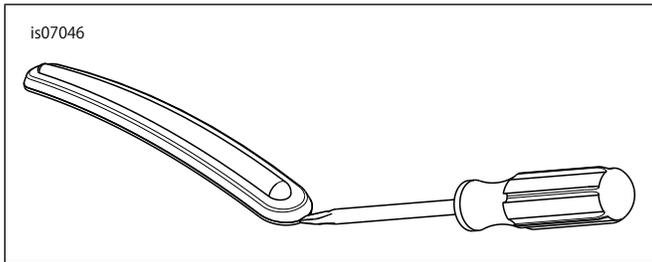


図1。フェンダートリムストリップの取り外し

取り付け

バンパーの交換

注記

サドルバッグガードを装備するTouring車両とすべてのTrike車両はスペーサー (10300256) の取り付けを必要としません。スペーサーを廃棄します。

1. 図2を参照してください。バンパーを取り外します。
 - a. ボルト(1)を取り外す。後で使用します。
 - b. バンパー(2)を取り外します。廃棄する。
 - c. スペーサー(3)を取り付けます。
 - d. 標準装備(OE)ボルト(1)を取り付けます。締め付ける。

トルク: 43.4-49 N·m (32-36 ft-lbs)

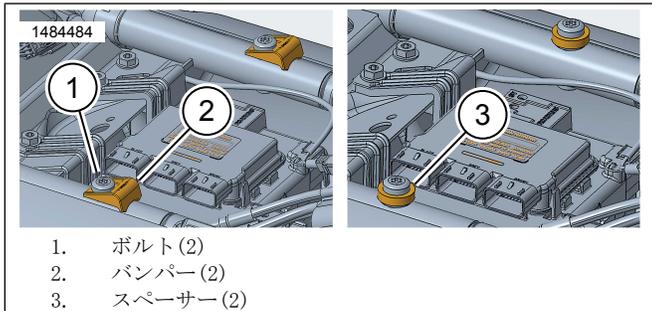


図2。バンパーの取り外し/スペーサーの取り付け

新しいシートとグラブストラップの取付

注記

図3を参照してください。2014年以降のTrikeモデル: アダプターブラケットキット (52100063) の別途購入が必要です。

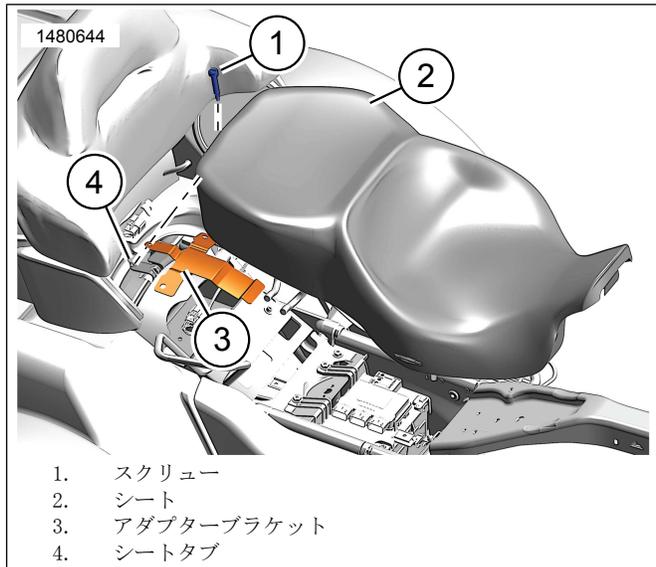


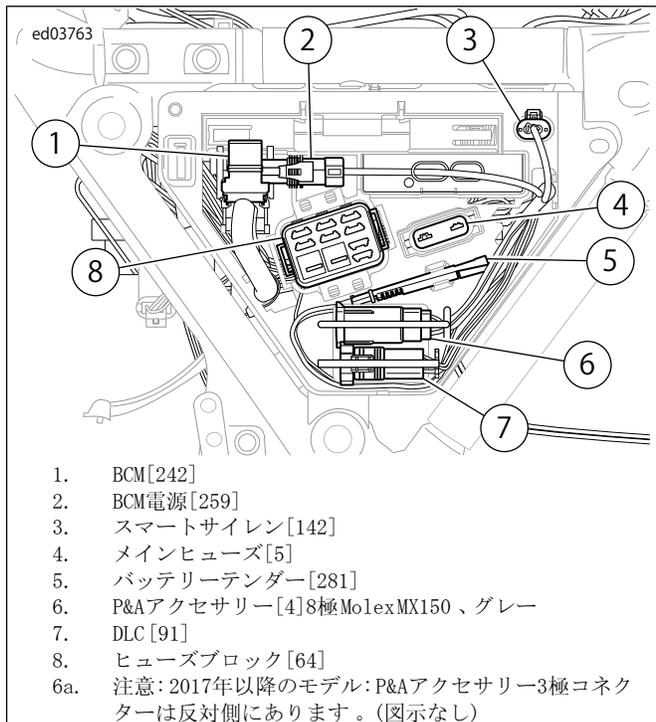
図3。Trikeシートの取り付け

1. 新品のグラブストラップを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。

警告

誤ってエンジンを始動すると、死亡や重傷事故の危険があるため、マイナス(-)バッテリーケーブルを外してから作業を開始してください。(00048a)

2. オーナーズマニュアルの取扱説明に従い、バッテリーからマイナスバッテリーケーブルを取り外します。
3. 図4を参照してください。アクセサリ回路コネクタ(6)からプラグを特定し、取り外します。



1. BCM[242]
2. BCM電源[259]
3. スマートサイレン[142]
4. メインヒューズ[5]
5. バッテリーテンドラー[281]
6. P&Aアクセサリ[4]8極MolexMX150、グレー
7. DLC[91]
8. ヒューズブロック[64]
- 6a. 注意: 2017年以降のモデル: P&Aアクセサリ3極コネクタは反対側にあります。(図示なし)

図4。2014～2016: 左サイドカバー

4. 暖房冷却シートコネクタを新品のシートの下側に配置します。
5. 暖房冷却シートコネクタをアクセサリ回路コネクタ(6)に接続します。
6. オーナーズマニュアルを参照してください。マイナス(-)バッテリーケーブルを接続します。
7. 配線がシートの取り付け時に挟まれないように、シート下に配線をひいてください。
8. ハーネスヒューズホルダーキャップが完全に装着され、シートベースがクリアになるように固定されているか確認してください。
9. 「図5」を参照。すでに取り付けられている場合、前からグラブストラップを通して、前面下側にあるスロット(2)が燃料タンクのリアブラケットのシートマウントトング(1)の後ろに来るまで、シートの後部をスライドさせます。

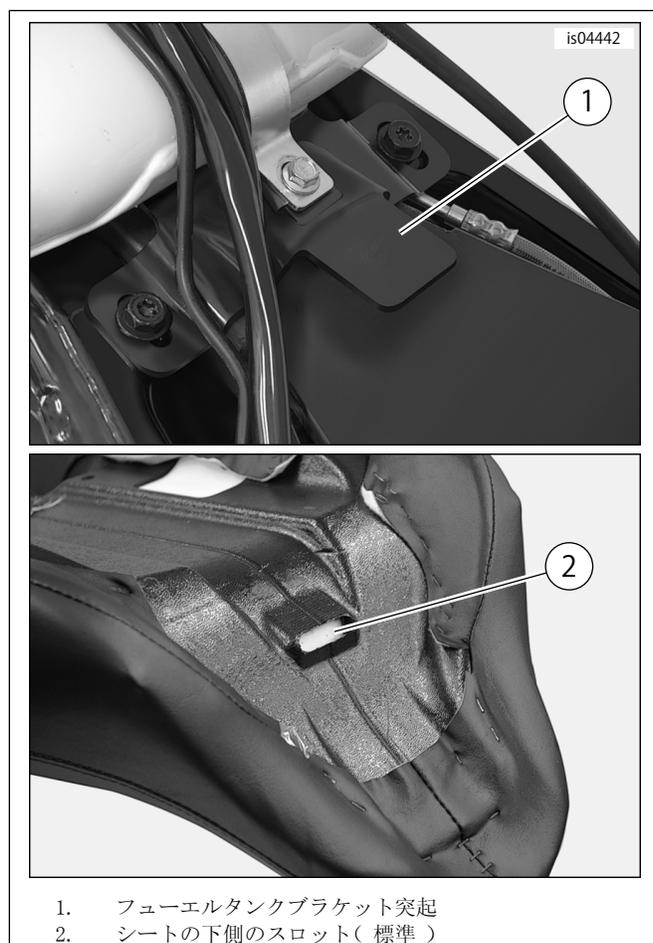


図5. シートのフロントマウント(標準)

10. フレームバックボーンにシートを押し下げます。
11. 燃料タンクのブラケットツメが完全にシート下のスロットとかみ合うまで、車両の前方に向けてシートをスライドさせます。

12. シート取り外し時に取り外したプラスのフィリップヘッドスクリュー(ロックワッシャー付き)を使って、リアフェンダーにシートを固定します。締め付ける。
トルク: 5.4-8.1 N·m (4-6 ft-lbs)
13. シートを取り付けます。シートを取り付けたら、シートを上引っ張って、固定されているか確認します。サービスマニュアルを参照してください。
14. グラブストラップを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。
15. 取り外されている場合、サドルバッグを車両に取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。OEペールヘッドスタッドとフラットワッシャーで固定します。

注記

サドルバッグの下にある成形ラバーインサートが、下側のサドルバッグサポートレールにしっかり装着されていることを確認してください。

16. サドルバッグマウントボルトを前に締め付けます。締め付ける。
トルク: 7-11 N·m (62.0-97.4 in-lbs)

操作

注記

- ・ 車両のエンジンがかかっていない、または通常操作スピード以下で走行中にシートを操作すると、短時間で車両バッテリー放電します。これによって次にスタートできなかったり、電気系統が故障する可能性があります。
- ・ 一部の車両で、アクセサリスイッチがインナーフェアリングスイッチパネルにあるロッカースイッチになっています。IGNITIONまたはACCYのイグニッション/キースイッチを使って、アクセサリスイッチをOFFからONに切り替えて暖房冷却シートへの回路を閉じます。
- ・ 車両アクセサリ回路の操作方法はオーナーズマニュアルを参照してください。
- ・ 車両のエンジンがかかっていない時にアクセサリスイッチがONのままになっていて、シートのロータリースイッチがオフの位置にない場合、シートはイグニッション/キースイッチがIGNITIONまたはACCYの位置に切り替わった時に、シートの暖房または冷却を開始します。
- ・ ファンが作動するのは、シートが冷却モードになっていて、ライダーとパッセンジャーのどちらか、または両者がOFF以上の電源レベルに設定した時だけです。
- ・ ライダーとパッセンジャーのファンは両方とも同時にオン/オフが切り替わります。
- ・ 一度にファンが一つだけ作動するのは、正常ではありません。
- ・ 電源レベルの設定でファンの回転速度は変わりません。
- ・ 冷却の強度は、ファンの回転速度ではなく加温/冷却エレメントを通る電流によって制御されます。
- ・ シートが最適な温熱効果を出すまで2~5分、最適な冷却効果を出すまで10~20分かかります。
- ・ シートからライダーまたはパッセンジャーに向けて風を送るわけではありません。
- ・ 清掃時は、ロッカースイッチからブートを引っ張らないように注意してください。ロッカースイッチのロータリーノブまたはブートを取り外そうとしないでください。これらのアイテムは、修理不可能です。

シートコントロールスイッチ

1. 図6を参照してください。ロータリースイッチ(1、3):

- a. ライダーゾーンとパッセンジャーゾーンのレベル設定を別々にコントロールします。
- b. レベルコントロールは、独立しています。
- c. スイッチのディテントで、好きな設定にすぐに戻すことができます。
- d. ライダーのコントロール(1)は、ライダーのシートポジションに最も近くににあります。
- e. パッセンジャーのコントロール(3)は、パッセンジャーのシートポジションに最も近くににあります。
- f. 最も低い設定は最初のディテントで、もう一方のコントロール、または温/冷スイッチ(2)の設定に関係なく、シートポジションをOFFにします。
- g. 追加のディテントが四つあり、暖房または冷却機能設定の強度を上げます。

2. 図6を参照してください。温/冷スイッチ(2):

- a. 「H」を押すと、暖房します。
- b. 「C」を押すと、冷却します。

3. ファン:

- a. 暖房が押されている場合はいつも、両方ともOFFです。
- b. ライダーとパッセンジャーのどちらかがOFF以外のレベルに設定され、「C」が押されている場合はいつも、ONのままです。
- c. ファンは常に、両方ともOFFかONのどちらかです。
- d. ファンは冷却モードの時、暖房/冷却エレメントの下側から廃気します。空気は、座席面を流れません。
- e. ファンは、ライダーにもパッセンジャーにも風を送るものではありません。
- f. シートリモート入力/出力 - 電子シートコントローラー (RIO-ESC) は、レベル設定に関わらず、同じスピードでファンを作動させます。
- g. シートはファンの速さをわずかに変える大きな気流を描きます。
- h. ファンの速さがわずかでも変わると、周囲の音があまりしない状況では、その音が聞こえることがあります。これは正常です。

4. 性能の特性:

- a. 最適な温熱になるには、2~5分かかります。
- b. 制御スイッチレベル設定に基づき、RIO-ESCが設定温度になるまで熱を出します。

- c. 極度な寒冷条件では、シート内の最大出力制限のため、最高温度が得られない可能性があります。
- d. 最適な冷却状況になるには、10~20分かかります。
- e. RIO-ESCは、周囲温度の変化の中で、ライダーとパッセンジャーにとって最大限のメリットとなるように制御スイッチレベル設定に基づいて、フルパワーの一定の割合で冷却します。
- f. システム電圧で電力が制限されるため、正常な充電システムによって、最大パフォーマンスが異なります。
- g. 異常に低いシステム電圧の場合、パフォーマンスが低下したり、シャットダウンします。これは、キーがアクセサリモードになっていたり、バッテリーがフル充電されていないかったりする場合です。
- h. 熱は伝導によって座っている人に伝わり、出ていきます。効果は、着用する衣服によって異なります。
- i. 暖房/冷却エレメントは、臀部が接触する座席面の一部のみに配置されています。太腿部は温かくなったり、冷たくなったりしません。

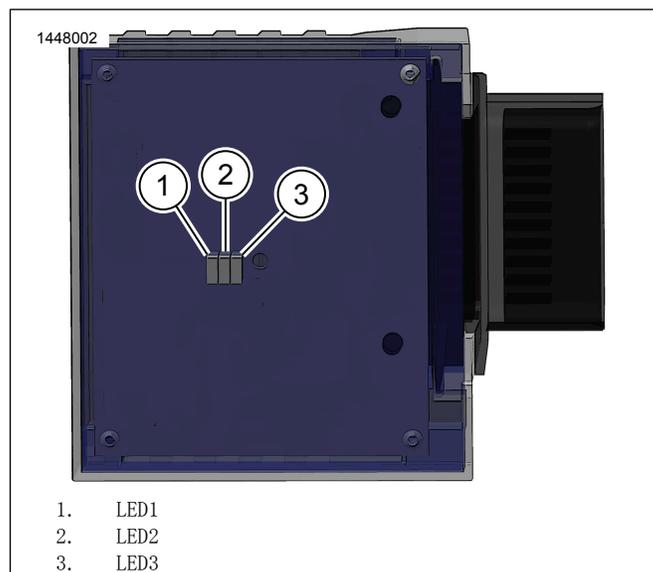
5. 診断:

- a. RIO-ESC は後ろ側に露出した3つのLEDが付いています: これらは、シートベースからRIO-ESCを取り外すことで、最も簡単に見えるようになります。RIO-ESC ハーネスのケーブルストラップは切断した場合、交換する必要があります。
- b. イベントコードが順番に表示され、シートに電力が供給される限り、連続表示をします。全てのイベントコードが識別されたことを確認するには、同じイベントコードが2回目に報告されるまでLEDをモニタリングしてください。
- c. 全てのイベントコードが電源サイクルでクリアになります。
- d. イベントコードの原因が、電源を入れ直した後も表示される場合は、RIO-ESCが適切なコードを再度設定します。
- e. トラブルシューティングでは、ライダーが車両フレームからシートを実際に取り外し、電源を切らないでRIO-ESCにアクセスするように指示することがあります。
- f. イベントの原因が修復されたら、シートは自動的にイベントをクリアにしようとします。これには5~30秒かかります。
- g. シートが自己回復し、動作が通常に戻ったとしても、電源が再度入るまで、コードが表示されたままになります。
- h. イベントコードの定義については、表1をご覧ください。



1. ライダーコントロールスイッチ
2. 温/冷コントロールスイッチA
3. パッセンジャーコントロールスイッチ

図6。シート温/冷コントロールスイッチ



1. LED1
2. LED2
3. LED3

図7。RIOLED

表1。イベントコード

LED	フラッシュ	コード	検出	考え得る原因	トラブルシューティングの対応
1	1	内部コントローラースイッチA	モニター付きの内部チップ不具合信号	・ コントローラー内部の損傷または誤作動	・ 正規販売網店にご連絡ください
1	2	内部コントローラースイッチB	モニター付きの内部チップ不具合信号	・ コントローラー内部の損傷または誤作動	・ 正規販売網店にご連絡ください
1	3	内部コントローラースイッチC	モニター付きの内部チップ不具合信号	・ コントローラー内部の損傷または誤作動	・ 正規販売網店にご連絡ください
1	4	内部コントローラースイッチD	モニター付きの内部チップ不具合信号	・ コントローラー内部の損傷または誤作動	・ 正規販売網店にご連絡ください
1	5	過電流A	加温/冷却エレメントを通る電流の流れを測定します	・ コントローラー内部の損傷または誤作動 ・ 防音/冷却エレメントの損傷 ・ ハーネスの損傷	・ 正規販売網店にご連絡ください
1	6	電流不足A	加温/冷却エレメントを通る電流の流れを測定します	・ プラグの導通 ・ 暖房/冷却パッドのヒューズ切れ ・ 防音/冷却エレメントの損傷 ・ ハーネスの損傷	・ プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します ・ シートをOFFにし、両方のシート部分を5分間室温に戻す ・ 正規販売網店にご連絡ください
1	7	過電流C	加温/冷却エレメントを通る電流の流れを測定します	・ コントローラー内部の損傷または誤作動 ・ 防音/冷却エレメントの損傷 ・ ハーネスの損傷	・ 正規販売網店にご連絡ください
1	8	電流不足C	加温/冷却エレメントを通る電流の流れを測定します	・ プラグの導通 ・ 暖房/冷却パッドのヒューズ切れ ・ 防音/冷却エレメントの損傷 ・ ハーネスの損傷	・ プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します ・ シートをOFFにし、両方のシート部分を5分間室温に戻す ・ 正規販売網店にご連絡ください
1	9	過電流D	加温/冷却エレメントを通る電流の流れを測定します	・ コントローラー内部の損傷または誤作動 ・ 防音/冷却エレメントの損傷 ・ ハーネスの損傷	・ 正規販売網店にご連絡ください

表1。イベントコード

LED	フラッシュ	コード	検出	考え得る原因	トラブルシューティングの対応
1	10	電流不足D	加温/冷却エレメントを通る電流の流れを測定します	<ul style="list-style-type: none"> プラグの導通 暖房/冷却パッドのヒューズ切れ 防音/冷却エレメントの損傷 ハーネスの損傷 	<ul style="list-style-type: none"> プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します シートをOFFにし、両方のシート部分を5分間室温に戻す 正規販売網店にご連絡ください
2	1	ファン1低速	測定したファンのフィードバック信号	<ul style="list-style-type: none"> ファンブレードの物理的障害(閉塞) プラグの導通 ハーネスの損傷 	<ul style="list-style-type: none"> 妨害物の除去 プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します ファンの交換 正規販売網店にご連絡ください
2	2	ファン2低速	測定したファンのフィードバック信号	<ul style="list-style-type: none"> ファンブレードの物理的障害(閉塞) プラグの導通 ハーネスの損傷 	<ul style="list-style-type: none"> 妨害物の除去 プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します ファンの交換 正規販売網店にご連絡ください
2	3	ファン1高速	測定したファンのフィードバック信号	<ul style="list-style-type: none"> 気流制限 損傷したファン 	<ul style="list-style-type: none"> ファンの交換 正規販売網店にご連絡ください
2	4	ファン2高速	測定したファンのフィードバック信号	<ul style="list-style-type: none"> 気流制限 損傷したファン 	<ul style="list-style-type: none"> ファンの交換 正規販売網店にご連絡ください
2	5	ファン1失速	測定したファンのフィードバック信号	<ul style="list-style-type: none"> ファンブレードの完全閉塞 プラグの導通 損傷したファン ハーネスの損傷 	<ul style="list-style-type: none"> 妨害物の除去 プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します ファンの交換 正規販売網店にご連絡ください
2	6	ファン2失速	測定したファンのフィードバック信号	<ul style="list-style-type: none"> ファンブレードの完全閉塞 プラグの導通 損傷したファン ハーネスの損傷 	<ul style="list-style-type: none"> 妨害物の除去 プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します ファンの交換 正規販売網店にご連絡ください
2	7	ファン1過電流	測定したファンの消費電流	<ul style="list-style-type: none"> ファンブレードの物理的障害(閉塞) 損傷したファン ハーネスの損傷 	<ul style="list-style-type: none"> 妨害物の除去 ファンの交換 正規販売網店にご連絡ください
2	8	ファン1電流不足	測定したファンの消費電流	<ul style="list-style-type: none"> 気流制限 プラグの導通 損傷したファン ハーネスの損傷 	<ul style="list-style-type: none"> プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します ファンの交換 正規販売網店にご連絡ください
2	9	ファン2過電流	測定したファンの消費電流	<ul style="list-style-type: none"> ファンブレードの物理的障害(閉塞) 損傷したファン ハーネスの損傷 	<ul style="list-style-type: none"> 妨害物の除去 ファンの交換 正規販売網店にご連絡ください
2	10	ファン2電流不足	測定したファンの消費電流	<ul style="list-style-type: none"> 気流制限 プラグの導通 損傷したファン ハーネスの損傷 	<ul style="list-style-type: none"> プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します ファンの交換 正規販売網店にご連絡ください

表1. イベントコード

LED	フラッシュ	コード	検出	考え得る原因	トラブルシューティングの対応
2	11	ライダー高温3	暖房/冷却エレメントの温度測定	<ul style="list-style-type: none"> 防音/冷却エレメントの損傷 作動温度制限を上回る加温/冷却エレメント プラグの導通 	<ul style="list-style-type: none"> シートを室温まで冷やします 温/冷ロッカーコントロールの電源を切って再度入れる プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します 正規販売网店にご連絡ください
2	12	パッセンジャー高温3	暖房/冷却エレメントの温度測定	<ul style="list-style-type: none"> 防音/冷却エレメントの損傷 作動温度制限を上回る加温/冷却エレメント プラグの導通 	<ul style="list-style-type: none"> シートを室温まで冷やします 温/冷ロッカーコントロールの電源を切って再度入れる プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します 正規販売网店にご連絡ください
3	1	ライダー高温1	暖房/冷却エレメントの温度測定	<ul style="list-style-type: none"> 防音/冷却エレメントの損傷 作動温度制限を上回る加温/冷却エレメント プラグの導通 	<ul style="list-style-type: none"> シートを室温まで冷やします プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します 正規販売网店にご連絡ください
3	2	電圧不足1	測定した入力コネクタ電圧	<ul style="list-style-type: none"> シートコネクタの電圧が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 車両の充電システムと車両バッテリーが正常であるか確認します シートの主電源プラグが清潔で完全に固定されているか確認します 正規販売网店にご連絡ください
3	3	過電圧	測定した入力コネクタ電圧	<ul style="list-style-type: none"> シートコネクタの電圧が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 車両の充電システムと車両バッテリーが正常であるか確認します 正規販売网店にご連絡ください
3	4	ライダー低温1	暖房/冷却エレメントの温度測定	<ul style="list-style-type: none"> 防音/冷却エレメントの損傷 作動温度制限を下回る加温/冷却エレメント プラグの導通 	<ul style="list-style-type: none"> シートを室温まで温めます プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します 正規販売网店にご連絡ください
3	5	パッセンジャー高温1	暖房/冷却エレメントの温度測定	<ul style="list-style-type: none"> 防音/冷却エレメントの損傷 作動温度制限を上回る加温/冷却エレメント プラグの導通 	<ul style="list-style-type: none"> シートを室温まで冷やします プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します 正規販売网店にご連絡ください
3	6	パッセンジャー低温1	暖房/冷却エレメントの温度測定	<ul style="list-style-type: none"> 防音/冷却エレメントの損傷 作動温度制限を下回る加温/冷却エレメント プラグの導通 	<ul style="list-style-type: none"> シートを室温まで温めます プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します 正規販売网店にご連絡ください
3	8	パッセンジャースイッチレベル高温	パッセンジャーノブ電圧	<ul style="list-style-type: none"> プラグの導通 スイッチパックの損傷 	<ul style="list-style-type: none"> プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します 正規販売网店にご連絡ください
3	10	ライダースイッチレベル高	ライダーノブ電圧	<ul style="list-style-type: none"> プラグの導通 スイッチパックの損傷 	<ul style="list-style-type: none"> プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します 正規販売网店にご連絡ください

表1。イベントコード

LED	フラッシュ	コード	検出	考え得る原因	トラブルシューティングの対応
3	11	パッセンジャー高温2	暖房/冷却エレメントの温度測定	<ul style="list-style-type: none"> 防音/冷却エレメントの損傷 作動温度制限を上回る加温/冷却エレメント プラグの導通 	<ul style="list-style-type: none"> シートを室温まで冷やします プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します 正規販売網店にご連絡ください
3	12	ライダー高温2	暖房/冷却エレメントの温度測定	<ul style="list-style-type: none"> 防音/冷却エレメントの損傷 作動温度制限を上回る加温/冷却エレメント プラグの導通 	<ul style="list-style-type: none"> シートを室温まで冷やします プラグが清潔で完全に固定されていることを確認します 正規販売網店にご連絡ください
3	13	電圧不足2	測定した入力コネクタ電圧	<ul style="list-style-type: none"> シートコネクタの電圧が低い 	<ul style="list-style-type: none"> 車両の充電システムと車両バッテリーが正常であるか確認します シートの主電源プラグが清潔で完全に固定されているか確認します 正規販売網店にご連絡ください

トラブルシューティング

注記

- ・ 予想した通りに作動しない場合は、次の手順を行う必要があります。
- ・ 暖房または冷却が心地よくない場合、ノブをOFFの方に回転させてレベルを下げます。

車両を運転中の場合：

1. 温/冷コントロールスイッチを切り替え、どちらかのモードに戻す前に二秒待ってください。
2. パッセンジャーが乗車していない場合、パッセンジャーコントロールスイッチをOFFにします。

バッテリーが充電満タンで、エンジンを切って運転していない場合：

1. シートのハーネスヒューズを確認します。
 - a. ヒューズが開いている場合、表2に記載されている整備パーツをヒューズと交換します。このヒューズを高い定格と交換しないでください。
 - b. ヒューズが開いたままの場合は、ディーラーに連絡してください。
2. シートを操作します。
 - a. RIO-ESC にアクセスして、コントローラーからイベントコードを表示する間、シートのプラグをそのままにして電源を維持します。
 - b. シートは、ライダーとパッセンジャーの加温/冷却エレメントは別々に作動するため、問題がライダー側だけなのか、パッセンジャー側だけなのか、または両方の組み合わせなのか、問題を特定する必要があります。

3. イベントコードをRIO-ESCに記録してください。

- a. これらは、シートベースからシートRIO-ESCを取り外すことで、見えるようになります。
 - b. イベントコードの詳細については、図7と表1を参照してください。いくつかのイベントは相互に関連します。
 - c. イベントコードに関係なく、次の手順を続行することをおすすめします。
4. 動作と障害物を目視で検査します。
 - a. ファンブレードを触らないでください。ファンの作動中やファンを突然作動させると、人身事故を起こす可能性があります。
 - b. ファンの中に何も挿入しないでください。突然作動させると、ファンが損傷したり人身事故を起こす可能性があります。
 - c. どちらかのコントロールノブが冷却モードに設定されていると、ファンは両方とも作動します。ファンの電源を切るイベントもあります。
 - d. 妨害物を除去する前にファンのプラグを抜きます。電源が入っていてもごくわずかな抵抗でファンが回転します。
 5. ファンが損傷している場合、REPAIR(修理)セクションを参照してください。ファンを取り付け、プラグを接続する前にコネクタグロメットが正しく設置されているか確認します。
 6. シート部分を両方ともOFFに設定します。シートプラグの電源を一度切って再度入れます。

7. シートを懸念のあるモードに設定し、イベントをメモします。

- a. これは、持続するイベントだけが報告されることを確認します。
- b. さらにトラブルシューティングの対応について 図1を参照してください。

注記

- ・コネクターの蓄積された妨害物への接触を検査する時に、コネクターのガスケット面が清潔かどうか、ガスケットが取り付けられているか、プラグを差し込む前にガスケットが固定されているかを確認します。スズメッキの接触面、プラスチック、シリコンゴムなので、接触面を研磨剤や液体での清掃はおすすめしません。
- ・トラブルシューティング中に、バッテリーが放電するのを防ぐために、バッテリーチャージャーが必要であり場合があります。
- ・温/冷セクションの両方に自己再設定する直列のヒューズが含まれ、高温での作動条件を制限します。こうしたヒューズは開いていても、温度が通常の動作レベルに戻ると閉じます。平均温度と日陰にある状態で、セルフクリアするのに3分かかることがあります。
- ・電源の入れ直しは、完全にシートへの電源を遮断することです。シートのプラグを外して再度接続するか、車両を完全に切って、シートへの電源が切られていることを確認します。
- ・コントローラーの損傷または操作ミスは、全てのイベントコードの原因となり得ますが、全ての入力で明確に示されるわけではありません。トラブルシューティングの対応は、ディーラーの助けが必要となる場合があります。

修理

注記

ファンを取り換える前に、シートを取り外します。冷却モードでシートの電源を入れ、ファンの機能を目視で検査し、ファンが故障していないことを確認します。

ライダー側のファンはストライプワイヤーなしでプラグに取り付けられています。パッセンジャー側のファンはストライプワイヤー付きでプラグに取り付けられています。正しく取り付けられている場合は、ファン1がライダー側でファン2はパッセンジャー側になります。

1. 図8を参照してください。

パッセンジャー側のファンの交換。

注記

ファンを取り換える前に、シートを取り外します。冷却モードでシートの電源を入れ、ファンの機能を目視で検査し、ファンが故障していないことを確認します。

- a. グラブストラップとリアシートのタブスクリュー(6)を取り外します。
- b. シートを取り外します。シートと車両の間のワイヤー接続を引っ張らないように注意してください。
- c. 車両からシートワイヤーハーネスの接続を外します。
- d. スクリュー(5)を取り外します。後で使用します。

注記

シートベースとのワイヤーの配線に留意してください。シートワイヤーハーネスからファンの接続を外します。

- e. シートベースに交換するファン(3)を取り付けます。
- f. スクリュー(5)を取り付けます。締め付ける。
トルク: 0.564-0.79 N·m (5-7 in-lbs)

注記

- ・ワイヤーが元の取り付け通りに、配線されているか確認します。
 - ・先に取り外したケーブルストラップ(7)はすべて交換します。
- g. ファンをシートワイヤーハーネスに接続します。
- h. シートワイヤーハーネス(1)を車両に接続します。
- i. 車両を起動するか、アクセサリモードに切り替えます。
- j. 図6を参照してください。冷却モードでシートの電源を入れ、ファンが機能しているか確認します。
- k. シートを取り付けます。シートを上引っ張って、固定されているか確認します。サービスマニュアルを参照してください。

注記

車両への取り付けが完了する前に、車両をOFFにします。

1. リアシートのタブスクリュー(6)を取り付けます。
- m. グラブストラップを取り付けます。

2. 図8を参照してください。

ライダーダクトアセンブリーの交換。

注記

ダクトを交換する前に、車両からシートを取り外し、目視でダクトの損傷を確認してください。気流が直接ファンにもれる(冷却回路をバイパスする)、またはファンが機能していないなど、ダクトにヒビが入っていたり、破損している場合、ダクト/ファンアセンブリーを交換してください。

- a. グラブストラップとリアシートのタブスクリューを取り外します。
- b. シートを取り外します。シートと車両の間のワイヤー接続を引っ張らないように注意してください。
- c. 車両からシートワイヤーハーネス(1)の接続を外します。
- d. スクリュー(2)を取り外します。後で使用します。

注記

シートベースとのワイヤーの配線に留意してください。シートワイヤーハーネスからファンの接続を外します。

- e. シートからダクトアセンブリー(4)を取り外します。
- f. 新品のダクトアセンブリーファンコネクタをワイヤーハーネスに接続します。
- g. 新品のダクトアセンブリー(4)をシートベースに取り付けます。
- h. スクリュー(2)を取り付けます。締め付ける。
トルク:0.564-0.79 N·m(5-7 in-lbs)

注記

- ・ まずライダーに向けて側面を取り付け、ワイヤーハーネスがダクトのタブで保持されるようにダクトの後部を回します。
- ・ ワイヤーが元の取り付け通りに、配線されているか確認します。
- ・ 先に取り外したケーブルストラップ(7)はすべて交換します。
- ・ これらのスクリューはトルク値を超えないください。過トルクは、シートベースのスレッドがはずれる原因となります。
 - i. シートワイヤーハーネス(1)を車両に接続します。
 - j. 車両を起動するか、アクセサリモードに切り替えます。
 - k. 図6を参照してください。冷却モード(2)でシートの電源を入れてファンが機能しているか確認します。
 - l. シートを取り付けます。シートを取り付けたら、シートを上引っ張って、固定されているか確認します。サービスマニュアルを参照してください。

注記

車両への取り付けが完了する前に、車両をOFFにします。

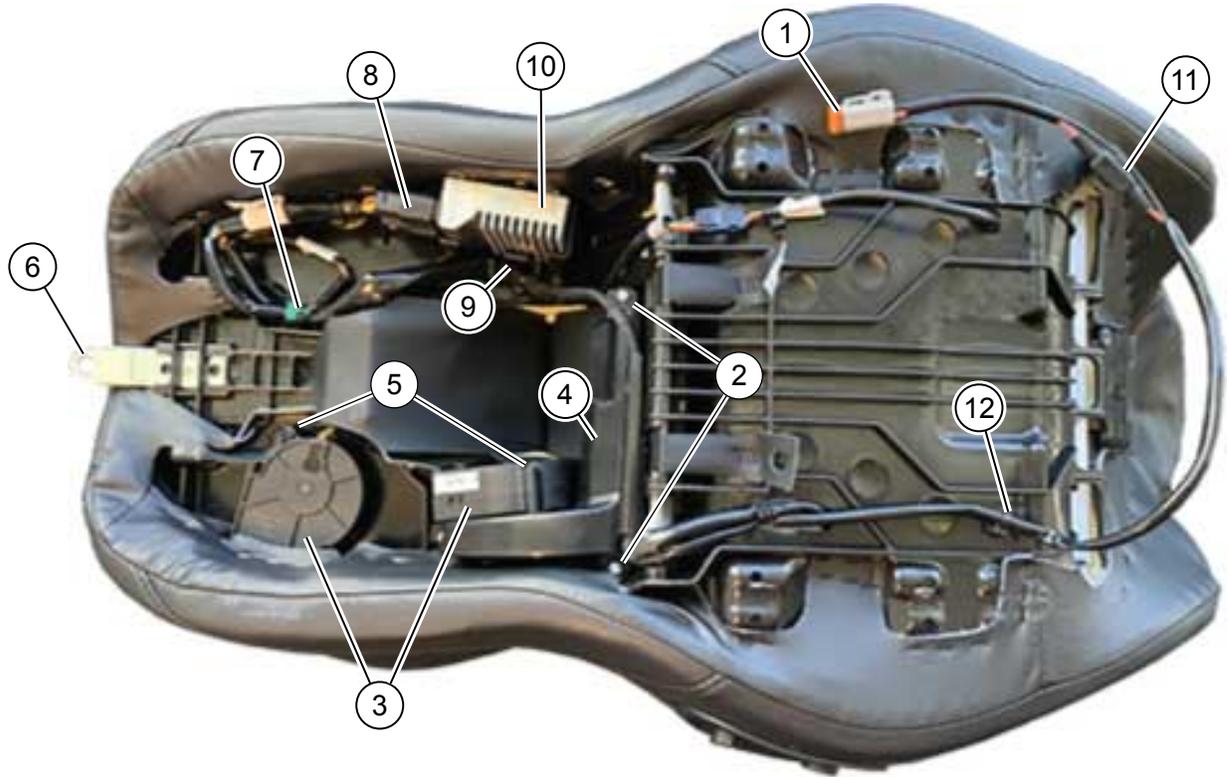
- m. リアシートのタブスクリュー(6)を取り付けます。
 - n. グラブストラップを取り付けます。
3. 「図10」および「図8」を参照してください。RIO-ESCの交換。
- a. グラブストラップとリアシートのタブスクリュー(6)を取り外します。
 - b. シートを取り外します。シートと車両間のワイヤー接続を引っ張らないように注意してください。
 - c. 車両からシートワイヤーハーネス(1)の接続を外します。

- d. RIO-ESC(10)の隣にあるケーブルストラップ(7)を取り外します。廃棄する。
- e. マイナスドライバーを使って、シートベースのスロットからRIO-ESC(10)を引き出しつつ、シートベースのRIO-ESC固定タブ(9)にそっと引き戻します。
- f. ワイヤーハーネスコネクタ(8)のロックをロック解除位置にします。
- g. プラグの固定タブに強く押し、ワイヤーハーネスがRIO-ESC(10)との接続が外れるようにします。
- h. 図9を参照してください。イソプロピル/水が50:50の水溶液を使って、RIO-ESCの裏面を清潔にし、フォームブロックを取り付ける前に、完全に乾燥させます。
- i. 図9を参照してください。フォームブロック(13)から裏紙を外し、LEDライト下のRIO-ESC(10)の後ろ側に貼ります。
- j. 新品のRIO-ESC(10)をワイヤーハーネス(8)に接続します。
- k. ワイヤーハーネス(8)のロックをロック解除位置にします。
- l. シートベースのRIO-ESC固定タブ(9)が、RIO-ESCを所定の位置でロックするまで、RIO-ESC(10)をシートベースのスロットに挿入します。
- m. 新品のケーブルストラップ(7)をワイヤーハーネス(8)とRIO-ESC(10)の隣のシートベースの間に装着します。
- n. シートワイヤーハーネス(1)を車両に接続します。
- o. 車両を起動するか、アクセサリモードに切り替えます。
- p. 図6を参照してください。冷却モードでシートの電源を入れ、ファンが機能しているか確認します。
- q. シートを取り付けます。シートを取り付けたら、シートを上引っ張って、固定されているか確認します。サービスマニュアルを参照してください。

注記

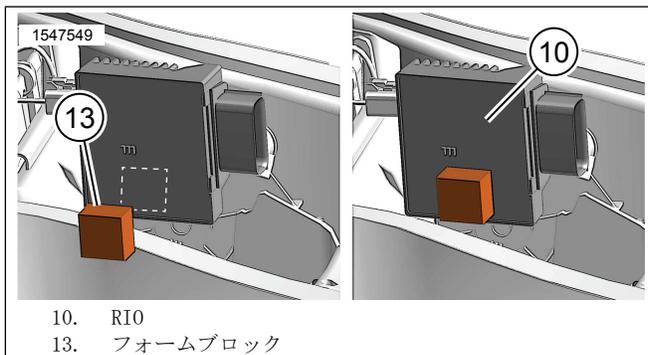
車両への取り付けが完了する前に、車両をOFFにします。

- r. リアシートのタブスクリューを取り付けます。
- s. グラブストラップを取り付けます。



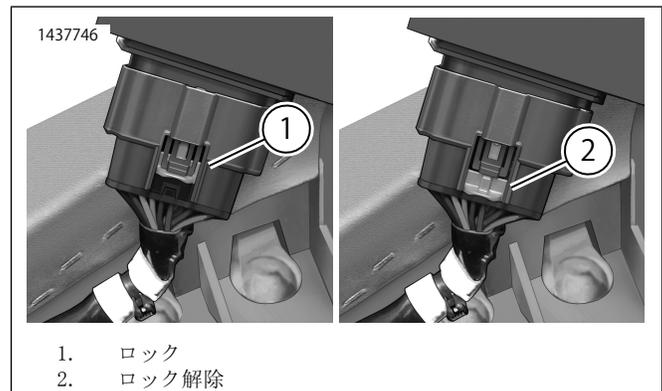
- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. シートハーネス | 7. ケーブルストラップ(3) |
| 2. ダクトスクリュー(3) | 8. RIO-ESCハーネス |
| 3. ファン(2) | 9. RIO-ESC固定タブ |
| 4. ダクト | 10. RIO-ESC |
| 5. ファンスクリュー(4) | 11. ヒューズ、シートハーネス |
| 6. シートタブ | 12. リテーナークリップ(3) |

図8。温/冷シート



- | |
|--------------|
| 10. RIO |
| 13. フォームブロック |

図9。フォームブロックをRIOに取り付けます



- | |
|----------|
| 1. ロック |
| 2. ロック解除 |

図10。RIOコネクタロック位置/ロック解除位置

交換用パーツ

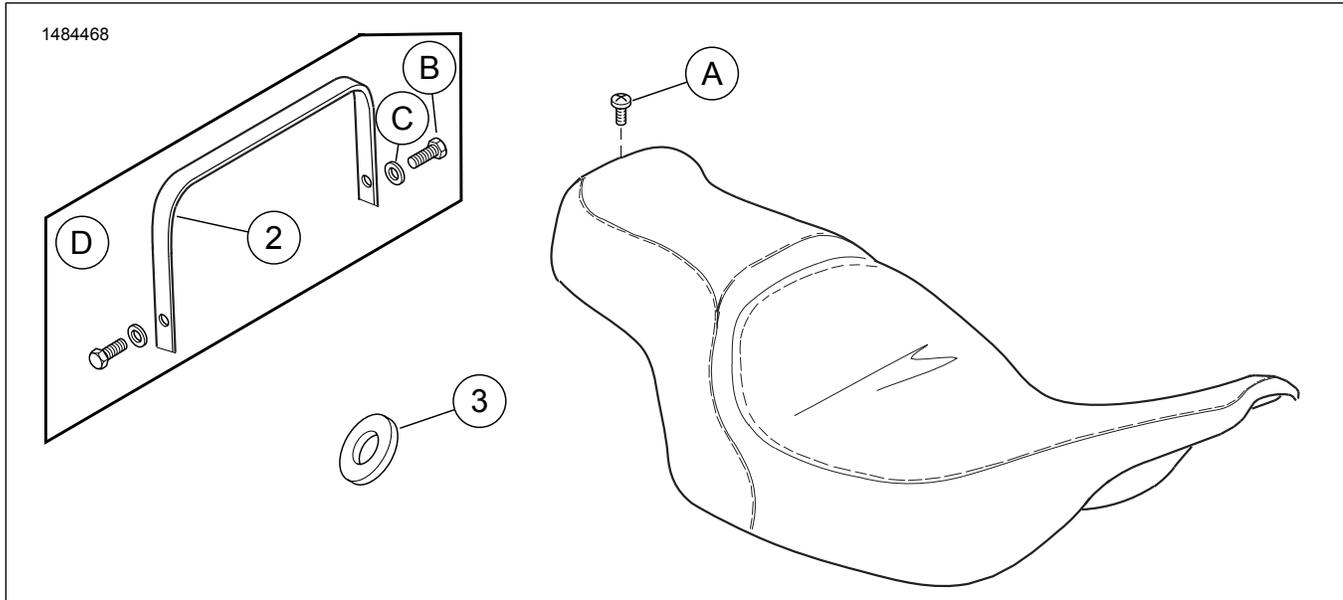


図11。交換用パーツ：ヒートッドシート

表2。交換用パーツ表

アイテム	詳細(数量)	部品番号
1	シート(無地表記)	別売りなし
2	グラブストラップ	52400296
3	スペーサー(2)	10300256
次のアイテムについては、図8を参照してください。		
2	スクリュー、ダクト(3)	10200557
3	ファン(2)	26800204
4	ダクトアッセンブリー	52000488
7	ケーブルタイ(3)	10006
5	スクリュー、ファン(4)	10201028
10	RI0-ESC	41000740
11	ヒューズ、シートハーネス	69200293
12	リテーナークリップ(3)	10177
13	フォームブロック(図9を参照)	52000635
キットには含まれない本文中記載のアイテム:		
A	標準装備(OE)プラススクリュー	2952A
B	OEグラブストラップスクリュー(2)	2952A
C	OEグラブストラップワッシャー(2)	6703
D	2014年以降のモデルの設定	